令和4年度第3回盛岡市緑のまちづくり会議

会議録 【概要版】

会議名	令和4年度第3回盛岡市緑のまちづくり会議
開催日時	令和5年2月14日（火） 13:30～16:30

出席者

氏名		分野
大瀧 英知	出	景観(総合設計研究所東北事務所長)
金沢 滋	出	商工(岩手・木質バイオマス研究会顧問)
木村 敦子	出	デザイン(岩手アートディレクターズクラブ会員)
佐々木 寿美子	出	商工観光(肴町商店街4S会所属)
島田 直明	欠	学識経験者(岩手県立大学)
中村 正	欠	環境(岩手県自然保護協会常務理事事務局長)
広田 純一	出	学識経験者(岩手大学名誉教授)
細田 真理子	出	公園活用実践者、子育て支援 (認定NPO法人いわて子育てネット事業担当)
若菜 千穂	出	市民団体(いわて地域づくり支援センター事務局長)
小笠原 裕光	出	公園管理者(都市整備部長)

■事務局ほか

公園みどり課：富樫課長、齊藤副主幹兼計画係長、吉田維持係長、青山
花と緑のまちづくり係長、佐々木文化財主査、宮田技師、
熊谷技師、鈴木主事

まちなか未来創生室：松田室長、佐藤副主幹

(株)みんなのみらい計画：濱田和人代表取締役社長

公園活性化プラン申請者：2団体

■傍聴

なし（非公開）

配布資料

- 会議次第
- 会議委員名簿
- 会議設置要領
- 議題説明資料

資料 1 (PowerPoint スライド印刷資料)

資料 2 (公園活性化プラン応募資料)

資料 3 (公園活性化プラン実施報告)

要旨

議事第 1 号 第 2 次盛岡市緑の基本計画 令和 4 年度実施事業 (アクションプラン) の実施状況について

第 2 次盛岡市緑の基本計画に基づく今年度実施事業 (アクションプラン) の実施状況について事務局より報告し、承認された。委員からは、次のような意見・質問が出された。

■ 街路樹の伐採について

委員：伐採に取り組んでいるのは目にするが、地元の人たちに協議しているのか。

「切られたあとこうなります」、「計画に基づいて切られています」など、公園みどり課としての方針みたいなものがあると良い。公園みどり課の PR をしたらより良いのではないかと思う。

事務局：通報や伐採の依頼は個人の方からも寄せられるが、その都度地元町内会に諮りながら進めている。現在は、落葉処理や根上りなどで、どちらかといえば地元から伐採の依頼を頂くことが多い。

市の方針としては、街路樹は交通施設の一つなので、車や歩行者、自転車の安全管理というのを大事に考えているところである。

事務局：伐採前には、予告の表示をしているものもあるが、切った後の事については、取り組んでいないので、ご意見を元に検討する。

委員：堅苦しくなくていいので、将来的に改善する方向であるとか、方針があって伐採している、ということが分かるようにすると地元も角が立たない。

■ 街路樹管理方針について

委員：管理方針は市民に向けてもきちんと伝わるものにしたら良いと思う。管理が苦しい現状があり、今後持続可能な管理を目指して、基本的には街路樹を広げな

い計画であるということ、素直に謳った方が良いと思う。伐採したあと必ずしも更新するわけではない、など。

事務局：市全体の街路樹が大きくなりすぎており、ボリュームを小さくしたい。今回の方針については建設部・道路部門の方とも共同して進めていくので、街路樹の更新については道路部門でも考えてほしいところ。非常にコストがかかるので、更新というのも中々難しいと思う。

委員：市民からすると、道路部門も公園みどり課も変わらない。両課でつめた上で、更新しないという判断もありえるということ、管理方針の中にちゃんと書いた方が良い。現状をきちんと伝えないと、クレームを言ってくる人もいます。

委員：設置方針は道路部門で運用しているのか？

事務局：設置基準も公園と道路と一緒に作ってきた。いずれ設置基準も見直す。市も維持管理が厳しいということが伝わるような管理方針を作っていきたい。

■公園愛護会活動の継続について

委員：今は町内会だけでなく、市民全体に声をかけたら、思い入れのある公園を、管理したい人もがもしかしたら出てくるのではないかな。それで手入れをしていく上で愛着が湧いてくる仕組みが出来ると面白い。

委員：器材を貸し出しの話もあったが、器材を使う人たちが高齢化してきているのであれば安全面に係る勉強会や講習会を含めて予算取りしてはどうか。

議事第2号 中央公園 Park-PFI 事業 事業計画の変更について

(事業内容の審議、検討に関する情報が含まれるため、非公開)

報告事項

・公園活性化プランの採択事業の実施状況について

(①OUTSIDE PLAY FESTIVAL ②盛岡どんば ③and CRAFT ④高松の池サポーターズ)

■①～③は実施済み、④は令和5年度実施で検討中。

■②盛岡どんばについて、ごみの苦情があった。来年も実施するのならば、回収方法や公園利用者へ周知について再考する必要がある。

■④高松の池サポーターズについて、キャンプはそもそも公園での禁止事項であり、実施のハードルが高いが、申請者の強い思いは伝わっており、緑のまちづくり会議としても期待している。

・公募設置管理制度 (Park-PFI) における整備事業の状況について

(①木伏緑地 ②盛岡城跡公園芝生広場整備事業 ③中央公園整備事業)

■②に関連して、北のクラフトフェアは多くの方が関わり、町のお店にもぎわって非常に

いいイベントだった。Park-PFI につながるイベントだということを市民が理解できたかは不明である。(もっと宣伝すべき。)

- 盛岡城跡公園の先行計画や文化庁との整合も十分にとりつつ、プロセスをしっかりとって事業実施してほしい。

・盛岡市動物公園再整備事業の状況について

- 岩山エリア再生のリードプロジェクトとして、動物公園をリニューアルしている。
- 令和5年春のオープン後の運営についてもきちんと行い、皆に愛される動物公園になることを期待している。

その他

- 市は、公園活性化プランの実施によって、社会の課題の解決に貢献していることを市民に発信してはどうか。
- 市内部の体制として、Park-PFI の進捗・管理に関するマニュアルをつくるなど、スピーディーに情報共有するシステムの構築を。(審議は緑のまちづくり会議の場で。)